

真実は、
視えますか？

西村まさ彦 大島葉子 二宮芽生 慈五郎 MEGUMI 小林涼子
小川美潮 細井学 荻野みかん 関口アナン 山本純詞 大熊一弘 モロ師岡

窓

M A D O

監督・脚本：麻王 音楽：板倉文 Ma*To 主題歌：「窓」小川美潮 作詞：工藤順子 作曲：Ma*To

製作：プロデュース：藤村政樹 (towale) 撮影：平野拓朗 照明：高橋明裕 録音：斎藤秀人 美術：内藤愛 (VOLTA) 衣装：五月庵 (Rooster) エグゼクティブプロデューサー：高千沙穂 制作担当：東海林純
撮影コーディネーター：佐藤可居 マイトール・ポートフォリオ・スタジオ：高木公美子 (ONPHA) HIGGINS スチール：中村理生 (ONPHA) 音響効果：渡野まゆみ 監修：斎藤秀人
編集：藤村政樹 コンボソフト：林剛志 カラリスト：亀井俊貴 制作・配給・著作：towale LLC 2022/日本/カラー/4:3/82分 ©2022 towale LLC



ある団地で起きた、タバコによる受動喫煙問題を巡り、4500万円の損害賠償を求めた裁判が行われた。2つの家族が辿り着いた先に見たものとは？



化学物質過敏症



その原因を巡り、同じ集合住宅に住む2つの家族で争われた裁判を基に、現代社会の問題に深く切り込む。

日本のとある郊外の団地。同じ集合住宅に住むA家とB家。ある日、A家は階下に住むB家からのタバコの煙害によって「化学物質過敏症/Multiple Chemical Sensitivity (MCS)」を発症したとして、B家を相手に4500万円の損害賠償を求める裁判を始める。「横浜・副流煙裁判」と呼ばれたこの実在の裁判は、やがて日本におけるタバコ裁判において大きな問題として社会的に取り上げられるようになる。本作は、その過程で裁判資料として公に提出された“A家A夫の記した4年に渡る日記”からヒントを得て制作された、事実を基にしたフィクション映画である。監督は麻生。本作は長編デビュー作であり、B家の息子でありながら、両者の関係をフラットな想いで見つめようとする。原告家族「A家」と、被告「B家」。それぞれの家族を通して、「化学物質過敏症」が引き起こす様々な問題や分断を描く。



郊外のすずめ野団地に住む、江井英夫。英夫は、娘の英美が2016年2月から、階下に住む家族“備井”の部屋からくるタバコの煙害に苦しめられていることを問題と思う。英美の体調は煙害によって日に日に悪化していく一方で、英夫は、トラブルを克明に記録するために日記をつけ始め、なんとかこの問題に対して対処しようと奮闘する。そしてついに、英美が「化学物質過敏症」を発症したとして、医師から診断書を貰う。これを機に、A家とB家の裁判闘争が本格的に始まるのであった。

2022年12月16日公開

ムビチケ前売券(オンライン)発売中
1,500円(税込)



池袋HUMAXシネマズにて 池袋HUMAXシネマズ